

CHAR

提供: ExcelPedia

概要

コード番号に対応する文字列を返します。

書式

CHAR(引数1)

各引数の説明

引数 1

表示する文字列に対応するコード番号（数値）を指定します。セル範囲、計算式、又は直接数値を指定することが出来ます。1～255、及び 8481～39038 の範囲の数値を使用します。

使用例

CHAR関数使用例

	A	B	C	D	E
1	=CHAR(65)			A	
2	=CHAR(208)			ミ	
3	=CHAR(9050)			Z	
4	=CHAR(16755)			蒼	
5	=CHAR(65536)			#VALUE!	
6					

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことが出来ます。
Internet Explorer 普通に貼り付け / FireFox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

- 結果：A列の式に対してはそれぞれD列の結果が返ります。無効な数値に対してはエラー

#VALUE!が返ります。

読み

- キャラ

関連関数

- ASC 全角文字列を半角文字列に変換します
- CODE 先頭文字のコード番号を返します
- JIS 半角英数カナを全角英数カナに変換します
- TEXT 値を指定された書式に変換します

「<http://localhost/mwiki/index.php/CHAR>」より作成

カテゴリ: 文字列操作関数 | 関数

- このページの最終更新は 2013年10月19日 (土) 15:39 に行われました。